

平成 19 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 ステラ・グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 松浦 清
(コード番号 8206 大証 2 部)
問合せ先 財務部長 古川 善健
Tel (03) 5425-2511

当社連結子会社 株式会社オーエー・システム・プラザの
「平成20 年 2 月期中間（連結・単独）業績予想との差異及び
通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ」

本日、当社連結子会社株式会社オーエー・システム・プラザ（JASDAQ 7491 当社出資比率 46.92%）が、「平成20年 2 月期中間（連結・単独）業績予想との差異及び通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたので、別添のとおりお知らせいたします。

なお、これによる、平成 19 年 10 月 26 日発表の当社平成 20 年 2 月期（平成 19 年 3 月 1 日から平成 20 年 2 月 29 日まで）の業績予想の修正はありません。

以 上



平成 19 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社オーエー・システム・プラザ
代 表 者 代表取締役社長 大喜章徳
(J A S D A Q ・ コード 7 4 9 1)
問 い 合 せ 先 執行役員総務部部長 岡田晃生
電 話 番 号 0 5 2 - 2 6 3 - 8 6 5 0

平成 20 年 2 月期中間（連結・単独）業績予想との差異及び 通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 2 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）の業績予想について、平成 19 年 5 月 22 日付当社「決算期（事業年度の末日）の変更及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 20 年 2 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	6,200	140	99	16
今回修正 (B)	6,341	43	10	△310
増減額 (B-A)	141	△97	△89	△326
増減率	2.3%	△69.3%	△89.9%	—

(2) 修正理由

売上高につきましては、IT・デジタルメディア・コンテンツ事業を中心に好調に推移し、63億41百万円と当初予想比1億41百万円の増加となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、広告事業における制作部門において予想以上に制作原価がかかった事、また IT スタッフ人材派遣事業において人材不足による紹介・派遣売上の減少などの影響により、それぞれ43百万円（当初予想比：97百万円の減少）、10百万円（当初予想比：89百万円の減少）となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記の理由及び平成 19 年 11 月 6 日付「特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり有価証券評価損2億77百万円の計上により△3億10百万円（当初予想比：3億26百万円の減少）となる見込みであります。

(3) 通期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,222	315	239	79
今回修正 (B)	11,600	68	2	△350
増減額 (B－A)	△622	△247	△237	△429
増減率	△5.1%	△78.4%	△99.2%	△543.0%

(4) 修正理由

売上高につきましては、PC 販売事業において、上期には「PCDEPOT 一宮名岐バイパス店」をオープンすることができましたが、下期の現状において新規出店が困難なため売上の減少が予想され、また IT・デジタルメディア・コンテンツ事業のシステムコンサルティング事業において、上期は既存顧客からの受注が順調だったものの、下期においては当初より予想されていた既存顧客からの受注減を補うべく新規顧客開拓に注力しておりますが、開拓の遅れが懸念されること、また IT スタッフ派遣事業においては米国のサブプライムローン問題による国内外資系企業からの派遣受注減が予想されることにより、当初予想比 6 億 22 百万円減少し 116 億円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、広告事業における一部不採算部門の清算や経費の削減等に努力を重ねておりますが、上記の売上の減少による利益減、及び IT スタッフ派遣事業における人材不足を補う為の求人広告費用の増加、システムコンサルティング事業における新規顧客の開拓にかかる費用の増加などの影響が予想されることから、それぞれ 68 百万円 (当初予想比：2 億 47 百万円の減少)、2 百万円 (当初予想比：2 億 37 百万円の減少) となる見通しです。

当期純利益につきましては、上期で発生した有価証券評価損 2 億 77 百万円が影響し、△3 億 50 百万円 (当初予想比：4 億 29 百万円の減少) となる見通しであります。

2. 平成 20 年 2 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	3,150	10	△30	△35
今回修正 (B)	3,123	△10	△34	△318
増減額 (B－A)	△27	△20	△4	△283
増減率	△0.9%	△200%	△13.3%	△808.6%

(2) 修正理由

売上高につきましては、積極的な販促策による客数アップにより、ほぼ計画通りの 31 億 23 百万円 (当初予想比 27 百万円減) となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、平成 19 年 9 月に開店した「PCDEPOT 一宮名岐バイパス店」の出店コストと販促費用を当初の計画以上にかけることになったことなどから、それぞれ△10 百万円（当初予想比：20 百万円の減少）、△34 百万円（当社予想比：4 百万円の減少）となる見込みであります。

中間純利益につきましては、有価証券評価損 2 億 77 百万円の計上により、△ 3 億 18 百万円（当初予想比：2 億 83 百万円の減少）となる見込みであります。

(3) 通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	6,323	66	2	△10
今回修正（B）	6,000	14	△40	△460
増減額（B－A）	△323	△52	△42	△450
増減率	△5.1%	△78.8%	－	－

(4) 修正の理由

売上高につきましては、原油価格の高騰に伴う個人消費の低迷が懸念され、また下期における新規出店が困難な状況のため当初予想を 3 億 23 百万円下回る 60 億円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、経費の圧縮等に努力を重ねておりますが、平成 19 年 10 月 1 日付で当社に吸収・合併した株式会社オーエー・システムズののれん代約 20 百万円の償却や合併に伴う諸費用の発生により、それぞれ 14 百万円（当初予想比：52 百万円の減少）、△40 百万円（当初予想比：42 百万円の減少）となる見通しです。

当期純利益につきましても、上記の影響に加え、平成 19 年 11 月 6 日付「特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり子会社の吸収・合併に伴う抱合せ株式消滅差損 1 億 33 百万円などの計上により、△ 4 億 60 百万円（当初予想比：4 億 50 百万円の減少）となる見込みであります。

※本資料は現時点において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以 上